

雑 報

553.497 : 550.85 (522.7)

宮崎県大内平鉱山銀・アンチモニー鉱床調査報告

本調査は宮崎県の要望により昭和28年8月実施したものである。

調査した鉱区は宮崎県試登第3,944号, 第3,945号および出願中の1鉱区(鉱業権者, 宮崎県東臼杵郡東郷村山陰, 松沢国太郎)であつて, 日豊本線富高駅の西方約25km, 東臼杵郡東郷村鎌柄にある。

附近は中生代の砂岩・頁岩およびそれらの互層が分布しており, 石英斑岩脈がこれを通貫している。

試登第3,944号地内に賦存する鉱床は石英斑岩脈に

伴なつた含銀方解石脈であつて, 鏡幅は不規則ではあるが50cmにおよび, 含銀量は3,000g/tに達するところがある。

出願中の鉱区内には断層に沿つて方解石脈および石英脈があるが, 方解石脈は断層に沿つてできた貧弱なもので余り期待できない。石英脈には輝安鉱を伴なつており, その見込品位はSb 35%前後あり, 下部は期待できる。しかし水準以下は谷川の下になるので探鉱は困難である。(調査: 稲井信雄, 抄録: 東郷)

553.31 : 550.85 (523.5)

高知県足摺鉱山(砂鉄)調査報告

昭和29年11月高知県土佐清水市伊佐にある足摺鉱山を調査した。本鉱山は足摺岬の北西方直距1.5km, 標高200m附近にあり, 窪川駅から陸路6時間, 高知港から海路10時間余を要し, やゝ不便である。

鉱床と考えられるものは中生層を通貫く黒雲母花崗岩

が風化分解して生成された一種の原地残留物であつて, 普通の意味の山砂鉄の著しい2次富鉄化作用は受けていない。したがつて花崗岩砂(粗鉄)の品位は TiO_2 1.2~1.8%, Fe 4~7%を示し, 開発は有利とは認め難い。鉄石の多くは磁性が弱く, 大部分チタン鉄鉱よりなる。

(調査: 林昇一郎, 抄録: 宮本)